



「強い義務感を持とう！義務は全ての権利に伴う」

標語

国際会長 "Let's Show-Let's Grow"
「示そうワイズ！伸ばそうワイズ！」
アジア会長 "Let's Join under the Y's Men's Flag"
「ワイズメンの旗のもとに」
西日本区理事 "Let's move forward with conviction!"
「確信を持って前進しよう！」
京都部部长 「京都部555を目指してYと共に更なる飛躍を！」

西日本区強化月間

L T

会長 岩本敬子
副会長 山下太郎
書記 島田博司 牧野万里子
会計 中原一晃

クラブ会長標語 「笑 顔」 喜んで、楽しんで、感謝して。

『ウエストクラブ30周年にむけて！』

副会長(次期会長) 山下 太郎



いよいよ次々年度 30 周年を迎えようとしております。ウエストクラブも 30 年を前に今一度クラブ創設時の思いに顧みる必要があるように思います。でなければ創設期、繁栄期を過ぎこのままでは衰退期に入るやも知れません。企業でも 30 年間事業を継続させることが非常に難しいと言われる。クラブ運営においてもまったく同じ事が言えるのではないのでしょうか！

しかしながら世の中には永年益々繁盛している企業やクラブが沢山あるのもまた事実です。ではその違いは一体何処にあるのでしょうか！企業においては時代に応じた営業形態に変化していける、たとえば扱い品目や営業スタイルもその時その時にあった物へと対応出来る企業が勝ち残ります。ところがワイズメンズクラブにおいてはYMCAのサポートという絶対的な使命がありこの使命は恐らく未来永劫変化することは無いでしょう（他の団体とは決定的に違うところです）。そこでこの普遍的使命を持ちながらこれからも成長していくクラブ作りを考えた時、自ずから進むべき道も決まってくる様に思います。これはまさにYMCAとは一体何者？という問い掛けにも繋がりますが、そこにいる人々、リーダ

ーやメンバーこそがYMCAその物であるとするならばそのメンバーをサポートする事こそが本来のワイズの姿かも知れません。YMCAを構成するメンバーも時代によって大きく変わって来ているはずで、サポートの仕方その時代にあった内容に変化する必要があるでしょう。まさに原点に返ると言う観点からYMCAとの関わり方をもう一度メンバー全員で考える時が来ているように思います。

次代を担う人作りこそが本来のそして普遍的なワイズメンズクラブに対する使命とするならば、30周年に何をやるかという事ももちろん大切ですが、まずは新たな人作り、人間形成の礎になる様なクラブ作りを急ぐべきではないのでしょうか。その為にはとりもなおさずメンバー増強が最大の課題です、メンバー減少の下クラブの繁栄は無いからです。クラブの活性化はもとより40周年、50周年と使命を担う為にも会員増強が無くてはなりません。

是非30周年を30人、40人という仲間と共に迎えることが出来ますよう声高らかに「ウエストクラブに入ってよ、きっと良い事があるから」と叫び続けましょう。

これこそが周年を迎える最大のクラブ活動だという気が致します。一丸となってがんばりましょう！！！！

4月在籍者		例会出席率		BFポイント		ニコニコ		ファンド	
会員	第一例会	第二例会		切手	0pt	第一例会	ネットファンド		
23名	メン	17名	17名	現金	0pt	21000円		0円	
広義・功労会員	メネット	0名	0名	(メイキャップ含む)		第二例会			
2名	コメット	0名	0名			15000円			
	ビジター	0名	6名	前月出席率	累計			ファンド	
	ゲスト	1名	3名	修正	切手	0pt	累計36000円	年間合計	
合計	25名計	18名	26名	なし	現金	0pt		163,390円	

第一例会(総会)

2008年4月10日(木)リーガロイヤルホテル
会計 中原 一晃

今日もまたワイズの日。雨。総会とメンバースピーチの例会がスタート。先ず総会では次期山下下期は委員会を活発にするため、大きく2つの委員会で2人委員長の組織となります。私と立山ワイズの発表と承認。ここからは2部とし、お酒は飲み放題。でも全員が3分間スピーチです。そのためメンバーはビールを控える控える。大西ワイズのメタボのお話。お互い気をつけましょう。福田ワイズの15年ウォーキングの話。もうちょっと成果出てもよくない? 山下ワイズの最高の仕事の話。写真館には幸せな人しか来ない。羨ましい限りです。山下ワイズの仕事への情熱とお客様への心遣いが垣間見える話でした。私も含め立山、牧野、藤居ワイズは最近の近況。島田ワイズの息子さんサンガセレクションに合格。このまま行ったらJリーガー! 金澤ワイズの居眠りタクシーの話。後部座席もシートベルト義務化ですね。英語と中国語の挨拶に始まった市村ワイズの枚方桜名所。さすが次期交流! 森田ワイズのオーストラリア体験記。やはり英語が肝心です。岩本ワイズの町内の話。地域に還元がワイズです。星野ワイズは趣味の話。やっぱりお嬢様マダムです。河合ワイズのフルートのストラディバリウスGET! の話し。そ〜らもっかい吹いてもらいましょ。市橋ワイズはテニスの伊達公子さんの話。四ノ宮テニスは名門だったんだ! とメンバーみなさん仕込んでおられます。しかしドライバー委員会の松本、桂ワイズは一枚上手です。ことごとく、いちゃもんを付け罰金を要求。うまい言い回しに誰も反論できずニコニコへ。最後に司会のお二人の話。松本ワイズは、無駄な抵抗はやめる悟りの話に、桂ワイズはちょっと順番、逆ですが幸せ一杯の話。奈津ちゃんよかったね、おめでとう! 最後にはゲストの岡本さんもつられてニコニコに献金。岡本さんいわく日頃の重苦しい会議と違いなごやかでおもしろいメンバーの話に関心したとのこと。ありがとうございました。話し終わったメンバーはやれやれと飲みます。たかが3分されど3分。短すぎる時間と思えますがみなさんの話のうまいまとめに感心しきりの例会でした。



夜桜フェスタ

2008年4月20日(日)リトリートセンター
書記 牧野 万里子

4月20日(日)リトリートセンターで夜桜フェスタが開催されました。天気は晴天、青空が広がり春風が心地よく感じられます。今年は夜桜フェスタの前にYYフォーラムが開催されていた為、多くのワイズメンをはじめ、青少年団体、ユースボランティアリーダー、Yの職員の方々など多くの方が参加され、全体で約250名の参加者が集まりました。少し日が暮れてきて、風が冷たく感じられるころ、会場は徐々に賑わいを増してきました。各クラブが工夫を凝らした食べ物の屋台、バザーやゲームのコーナーは多くの人だかりです。屋台を巡ってみると、カレー、やきそば、ラーメン、たこ焼き、みたらし団子、焼き芋・・・、とても全部食べ切れないのが残念です。今年のウエストの屋台は中華スープ、大西ワイズの発案で初めてのメニューですが、なかなかの美味です。大西ワイズをはじめ、女性メンバーの活躍で、準備も効率よく出来ました。バンドの演奏を聴きながら、参加者は料理と会話をたのしんでいるようです。ライトアップされた夜桜が、とても幻想的な雰囲気です。そしてまたたく間に時間は過ぎ、閉会です。

もう少し飲みながら桜を見ていたいけど、ウエストは食器の後片付けの担当、山のように積まれた食器もメンバー皆で協力し、すぐに片付ける事が出来ました。皆でやると早い! 帰りにYのリーダーと話す機会がありました。リーダー達は、もっとワイズメンと交流する事を望んでいるようです。ワイズメンがどんな活動をしているのか知りたいが、話す機会がないので残念です、という事でした。

リーダーたちのこのような思いは、とても嬉しい事だと思います。今後は具体的な交流の機会を考えていくことが必要ではないでしょうか。今回はニューメンバーの方とご一緒できなかったのが、残念です。次のリトセン開設ワークは、是非一緒に参加しましょう。参加メンバーの皆様、お疲れ様でした。



第二例会(Yサ例会)
2008年4月24日(木)三条YMCA
市村 友美

本日は8人のYMCA正会員のゲストと市橋ワイズのゲスト角谷さんをお迎えして「京都YMCAをもっと良く知ろう」というテーマで開催されました。今回はYMCA会員会キャラバン隊の初デビューとの事。

主旨としては、外からは判りにくいYMCAをできるだけ理解してもらう為に、外にでかけようとの事で今回来訪されたとの事。組織をチャート図にして詳しく説明して頂きました。又各会員より実際に活動された会員行事についての説明がありました。例えばクリスマスキャロリングのコンサート、総会、国際協力(インドツアー)等。

ワイズに入会してまだ日の浅い私にとって、理解しやすかったのは「YMCAは会員で成立っていて、何かを成し遂げたいと思う会員の為に様々なプログラムを企画、提案、セッチングをする係です」という言葉でした。又YMCAは公益法人という性格上、会員の為だけでなく、一般に開かれた法人とする働きが必要であるという事も理解できました。その後質疑応答の後、最後に森田ワイズより、YMCAも現状打破の為にもっとワイズを利用し、又ワイズも参加する事により理解を深める事ができるという示唆がありました。私も今後、できるだけ参加し、理解を深め、少しでも成長して行きたいと思いました。

新連載コラム 森田ワイズの
『京都ウエスト温故知新(第二部)』
その14 西日本区大会で得られた感動
奉仕されたのはわたくしたち

第3回西日本区大会ホストの重責を担った京都ウエストのメン、メネットは、大会のホスピタリティーはいかにあるべきかの意思統一を図った後、全員が担当部署に分かれて活動を開始。心を込めた周到な準備を終えて2000年6月3・4日都ホテルでの大会当日を迎えました。

大会のテーマには「**新世紀！架けようワイズの虹の橋—京都からのプロローグ**」を掲げ、来賓には、榊本京都市長をはじめ、日本YMCA同盟総主事・東西日本区理事等が出席下さり、参加者は実に900名の盛会となりました。

大会には、今でこそ通例となっているパワーポイントを初めて活用し、メネットは茶団子とお茶のサービスで来場者の接待をしたほか、従来にないアイデアに富んだ企画を沢山盛り込みました。第2部としてワイズフォーラムを開催し、「21世紀のワイズの姿を求めて」をテーマに、会場からの意見を交えてワイズの夢を熱っぽく語っていただきました。

第3部はロビーや玄関ホールにて、落語や大道芸など数々の趣向溢れるパフォーマンスを披露。サントリーに特注したワイズウイスキーの販売もユニ

ークなアイデアでした。この間にDBC締結式も開催。いよいよ第4部は懇親会の開催です。ここでも洛中・みやび・ウエスト3バンドの競演によるダンスパーティー、ワイズウイスキー争奪ゲーム、舞妓さんとの記念撮影。つづくフェローシップアワーでは、京の地酒・地ビールの提供やカラオケと賑やかな宴となりました。

翌朝からの第5部は恒例の表彰・引継式。例年、参加者が表彰・引継ぎ式という重要なプログラムにも拘わらず半分程度になり、閉会式には更に減少するという淋しい風景となるのですが、終了まで残っていただくために考え出したのが、最後に「お楽しみ抽選会」をするという妙案でした。

見事にこの狙いは大当たり、なんと一等の香港ペア旅行券が、次回大会の開催ホストである鹿児島クラブの実行委員長に当たるという奇跡が起こり、大会の終幕は大いに盛り上がりました。

その余韻覚めやらぬまま、一文字ずつ「京都から鹿児島」と書かれた1メートルを越す7個の大きな風船を、座席の最前列から最後列まで渡し流すサヨナラパフォーマンスで名残を惜しみ鹿児島での再会を約しました。見送るウエストのメン・メネットたちをねぎらい下さる、参加者からの温かい握手と感謝の声に思わず涙する感激と、やり終えた大きな満足感に酔いしれたのでした。

すべて手作りで溢れるばかりの多彩な企画、そして何よりも大切なホスピタリティーの完全発揮によって、全国の多くの仲間に「こんな大会はじめてや」と喜びと感動を土産にさせていただけたこと、そしてすばらしい感動によって得た仲間の同志感「蟻集まりて大木を揺るがす」の団結力によって、やれば出来るという大きな自信を長い間の苦労の代償として受け取り、奉仕されたのは、わたくしたちだったと実感できたことは感謝して余りあるものでした。

京都ウエスト20周年事業の掉尾を飾った記念誌「20年の歩み」の発刊では、片側を右開き縦書きの「西日本区大会記録」として、フォーラム発言録と写真集、そしてメン・メネット34名の感想文を掲載しました。そして後日、大会参加者全員にお礼状とともに記念誌を贈呈したのですが、これも前代未聞のことと大いによろこばれました。

今回は、西日本区大会のみで、詳述過ぎたかと思いますが、この大会ホストで培ったウエストのエネルギが、次々年度に待つ中瀬京都部長輩出への支援活動にと結び付いていったのでした。

(2008年5月)


5月 Schedule

4月28日	(月)	三役会	19:00~	三条 YMCA
5月1日	(木)	役員会	19:30~	リガロイナル ビル
5月11日	(日)	第一例会 (社会見学 with 徳義会)	後報	京工コワー センター
5月22日	(木)	第二例会(総 会例会)	19:00~	リガロイナル ビル


6月予定抄

6月2日	(月)	三役会	19:00~	三条 YMCA
6月5日	(木)	役員会	19:30~	リガロイナル ビル
6/7~6/8	(土・ 日)	東日本区大会	後報	ビルド21 東京
6/14~ 6/15	(土・ 日)	西日本区大会	後報	なら100年 会館&ホテル 日航奈良
6月28日	(土)	第二例会(引 継ぎ例会)	18:00~	リガロイナル ビル

5月 Happy Birthday

	メン	メネット
	辻中 康宏	安平 春美

5月 Happy Anniversary

	桂 厚子・五郎	藤井 一彦・由美子

5月 他クラブ例会案内

	第一例会		第二例会	
	日程	場所	日程	場所
パレス	9日	ブライトン	23日	ブライトン
洛中	13日	嵐山クワン作戦	24日	ANA
みやび	2日	三条YMCA	16日	セントノーム

4月 役員会議案報告

	内容	結果
議案1	今出川青少年センターへ閉館の集い。サポート4クラブ 1クラブ 1万円拠出依頼。Yサ予算より拠出する。ウエストは、お菓子、飲み物担当。各クラブ精算後残金はYMCAへ募金。	承認
議案2	引継ぎ例会のPT委員長を松本ドライバー委員長とし、メンバーは委員長に一任する。	承認
議案3	夜桜フェスタのチケット代金について、Yサ委員会予算より一人1,000円補助する。	承認
議案4	4月第一例会費は、臨時会費として一人	承認

1,000円とする。

YMCA News

1.定期会員総会のご案内

日時 5月30日(金) 午後6時30分~9時

場所 京都YMCA三条本館マナホール

会員の方々の積極的なご参加をお待ち致しております。

2.障がいのある子ども達のための第4回京都YMCAインターナショナルチャリティーラン

チャリティーランは、YMCAが提供するキャンプに障がいのある子どもたちが参加できるように支援するプログラムです。健康に走れる者が感謝の気持ちを持って走り、その喜びを参加費や協賛金として寄付するものです。数多くの方のご来場をお待ち致しております。

日時: 2008年5月18日(日) 午前9時~午後3時

会場: 鴨川公園特設コース

競技内容:

- 小学生(5・6年生)による駅伝競技 (1チーム4名)
- グループラン・ファミリーラン(2~5名)でタイムレース
タイムはレース後のゲームで決定
- 一般駅伝(1チーム4名・中学生以上で駅伝方式の競技)
- 一般個人(中学生以上) 1人 3.4km

1位、2位、3位には、表彰状・賞品を授与します。

その他、グループランではコスチュームやパフォーマンス等で優れたチームには特別賞があります。

3.YMCAサマープログラム参加者募集!

4.短期集中スイミングスクール、デイキャンプ、鉄棒・とび箱が好きになる教室

※上記プログラムに関するお問い合わせ・お申し込みは

京都YMCA 三条本館

電話(075)231-4388 FAX(075)251-0970

E-mail:kyoto@ymcajapan.org

編集後記 by ブリテン委員長 市橋清太郎

4月はガソリン税の話題でもちきりでした。ガソリン税の復活・撤廃の論争の中で、地方の経済はガソリン税による道路建設がないと立ち行かないという話をよく聞きました。地方の議員や知事がそれを必死にアピールするわけですが、そもそも必要な道路をつくるというよりも道路建設の仕事を確保する為という実情があらためて見えたように思います。道路建設がないと立ち行かない経済であれば、これを期にそれにたよらない経済に立て直すべきなんじゃないでしょうか?あくまで暫定税であり、これがなくなったからと言って道路をつくらないわけではないのですし…。地方の道路建設会社より、ガソリン高で物流・運送業界の体力が落ちれば社会全体にもっと悪影響ではないでしょうか。

今月の聖句は都合によりお休みさせていただきます。

2007年1月号より当クラブのブリテン(紙面版)はグリーン商品リスト掲載品・FSC承認パルプを使用しています。また製本は(社)京都手をつなぐ育成会 山科共同作業所(知的障害者自立支援センター)に委託しています。